

外国人住民を対象とした  
日本語学習についてのweb アンケート調査  
結果報告書



2020年10月

山 口 県  
公益財団法人山口県国際交流協会

## **I 調査の概要**

### **1 調査の目的**

外国人を対象とした調査により県内における日本語学習に関する実態やニーズを把握し、今後の日本語教育の推進及び施策立案の基礎資料として活用する。

※山口県：令和2年度 地域日本語教育推進事業(文化庁：地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業を活用)

### **2 調査項目**

- (1) 回答者の属性
- (2) 日本語の学習経験
- (3) 日本語学習の状況 ※現在、日本語を学習している者を対象
- (4) 日本語学習に対するニーズ ※現在、日本語を学習していない者を対象
- (5) 日常生活における日本語の使用状況
- (6) 自身の日本語能力

### **3 調査設計**

#### **(1) 調査地域**

山口県全域

#### **(2) 調査対象**

県内在住の外国人 ※令和元年12月末時点：17,892人（法務省在留外国人統計）

#### **(3) 調査方法**

web アンケート（無記名選択式・回答は1人1回）

※11言語（日本語、英語、韓国語、ベトナム語、中国語、タガログ語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、クメール語、ポルトガル語）のページを作成

#### **(4) 調査時期**

令和2年（2020年）10月7日（水）～10月31日（土）

### **4 回収結果**

有効回答数 792（県内在住外国人の4.4%）

※回答言語は多い順にベトナム語 277件、英語・中国語各 134件、日本語 91件、インドネシア語 45件、タガログ語 34件、韓国語 31件、ネパール語 26件、タイ語・ポルトガル語各 8件、クメール語 4件

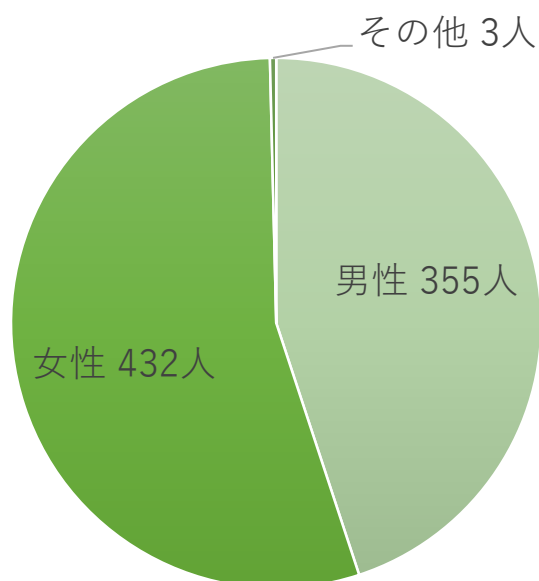
### **5. 報告書の見方**

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は回答件数または百分比（%）で示してある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、合計が有効回答数を超えることがある。
- (3) 百分比（%）の数値は端数処理（小数点第2位以下を四捨五入）しており、合計が100.0%とならない場合がある。
- (4) 報告書中の図表では、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (5) 報告書中のnは、回答数を示している。

## Ⅱ 調査結果

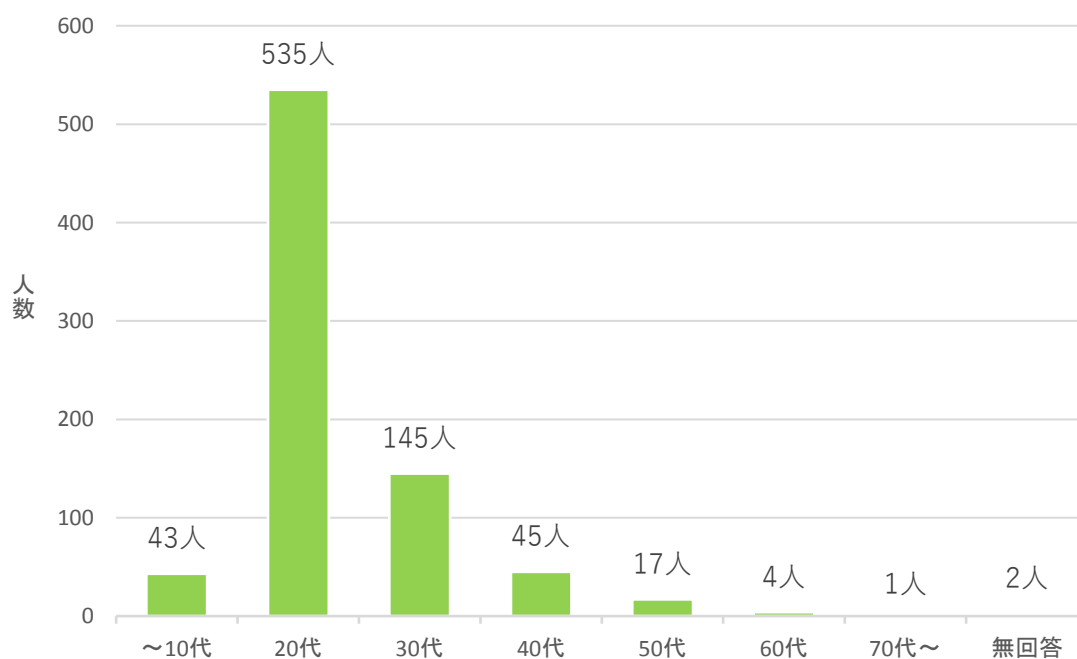
### [1] 外国人の属性等に関する項目

問1 あなたの性別はどれですか。(n=792)



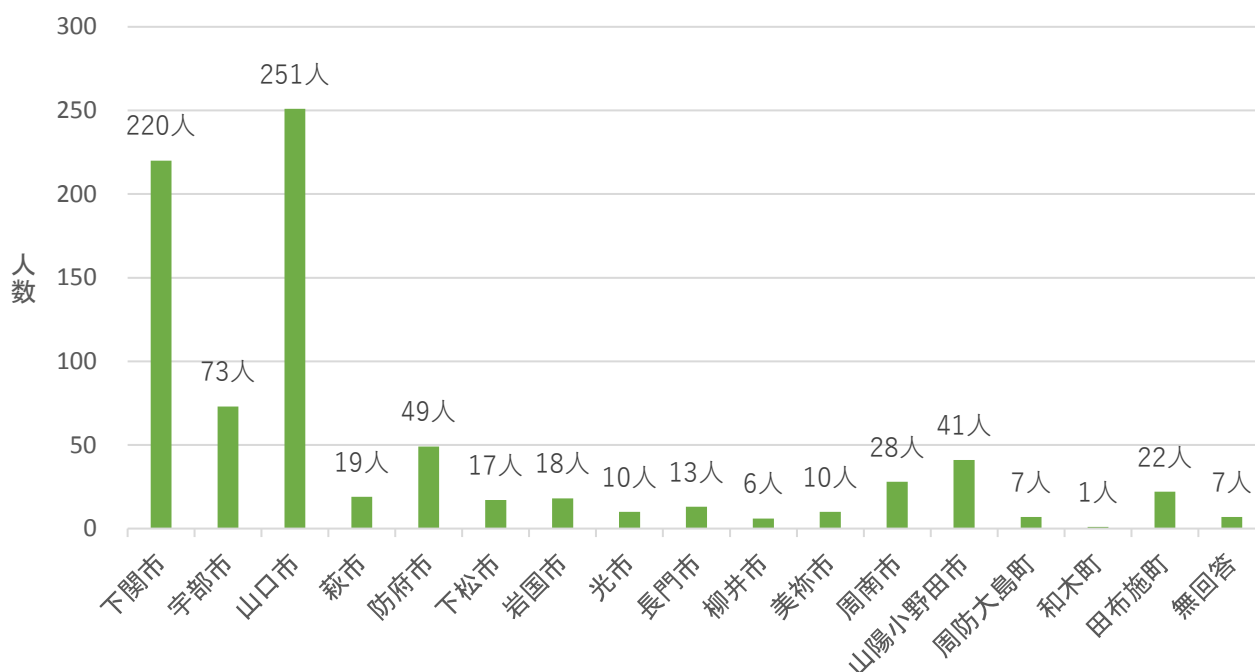
「男性」が355人(44.8%)、「女性」が432人(54.5%)となっている。

問2 あなたの年齢は次のどれですか。(n=792)



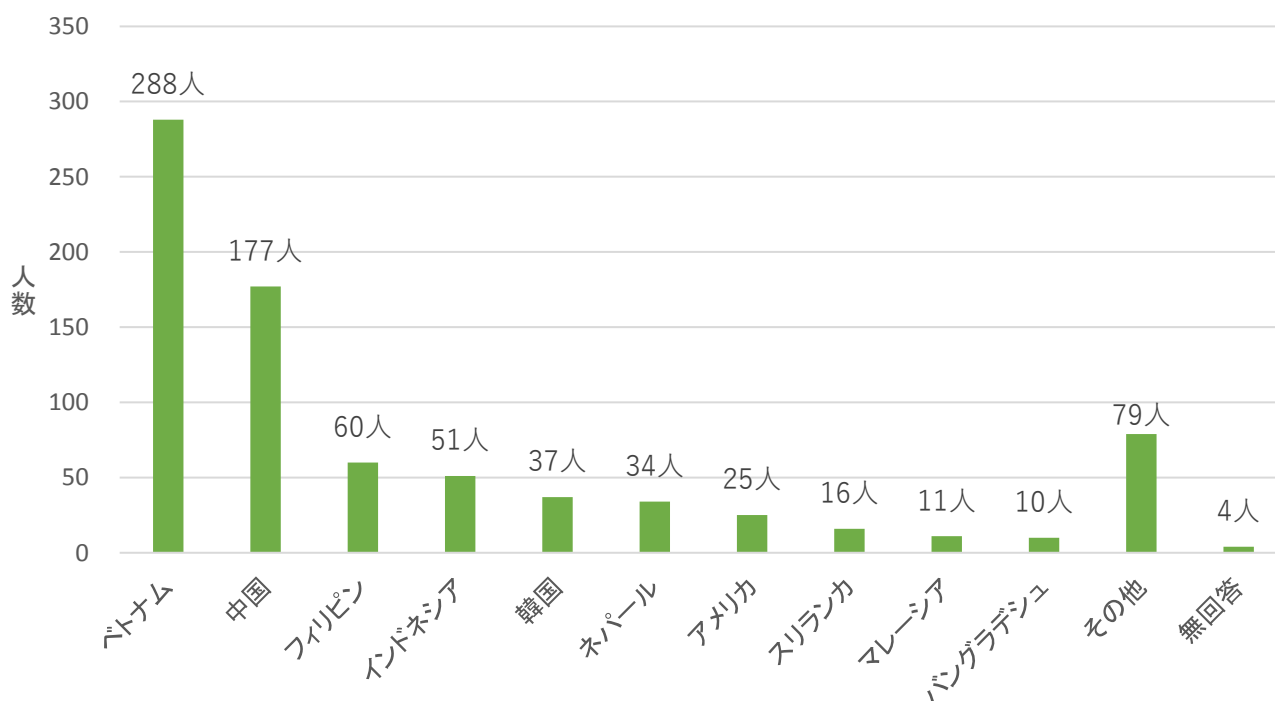
「10代以下(～19歳)」が43人(5.4%)、「20代(20～29歳)」が535人(67.6%)となっており、29歳以下の若年層が全体の7割以上(73.0%)を占めている。

問3 あなたの住んでいる地域はどこですか。(n=792)



「山口市」が251名(31.7%)、「下関市」が220名(27.8%)となっており、2市で全体の6割(59.5%)を占めている。

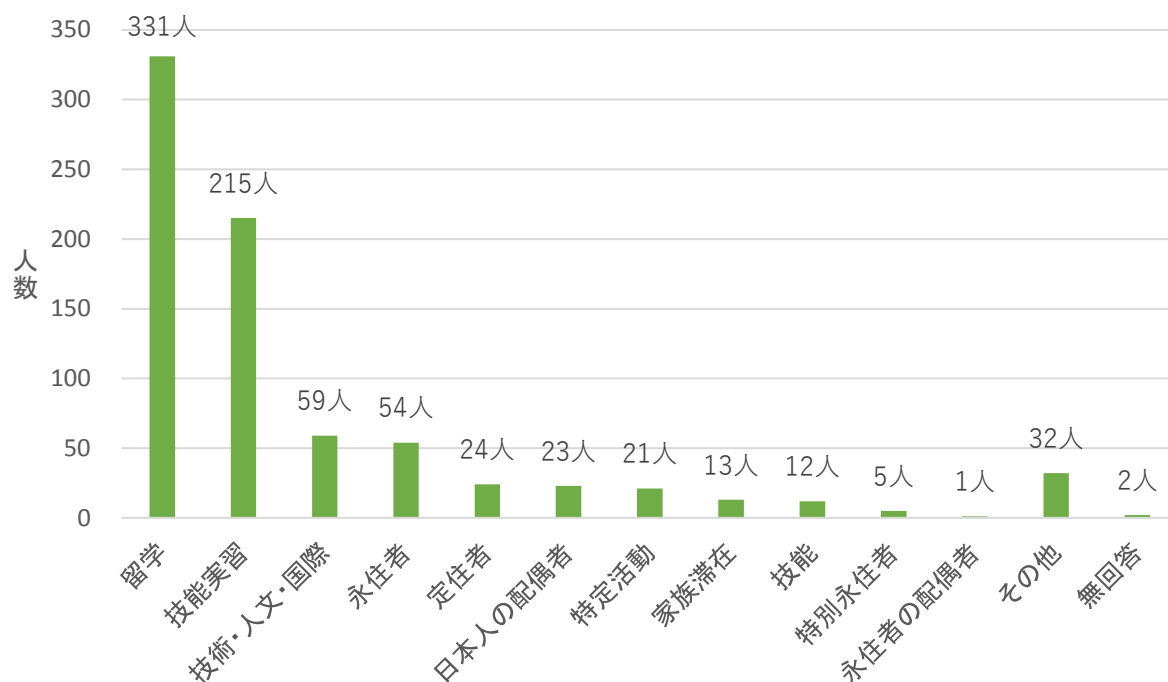
問4 あなたの出身は次のどれですか。(n=792)



「ベトナム」が288名(36.4%)、「中国」が177名(22.3%)となっており、2か国で全体の6割(58.7%)を占めている。

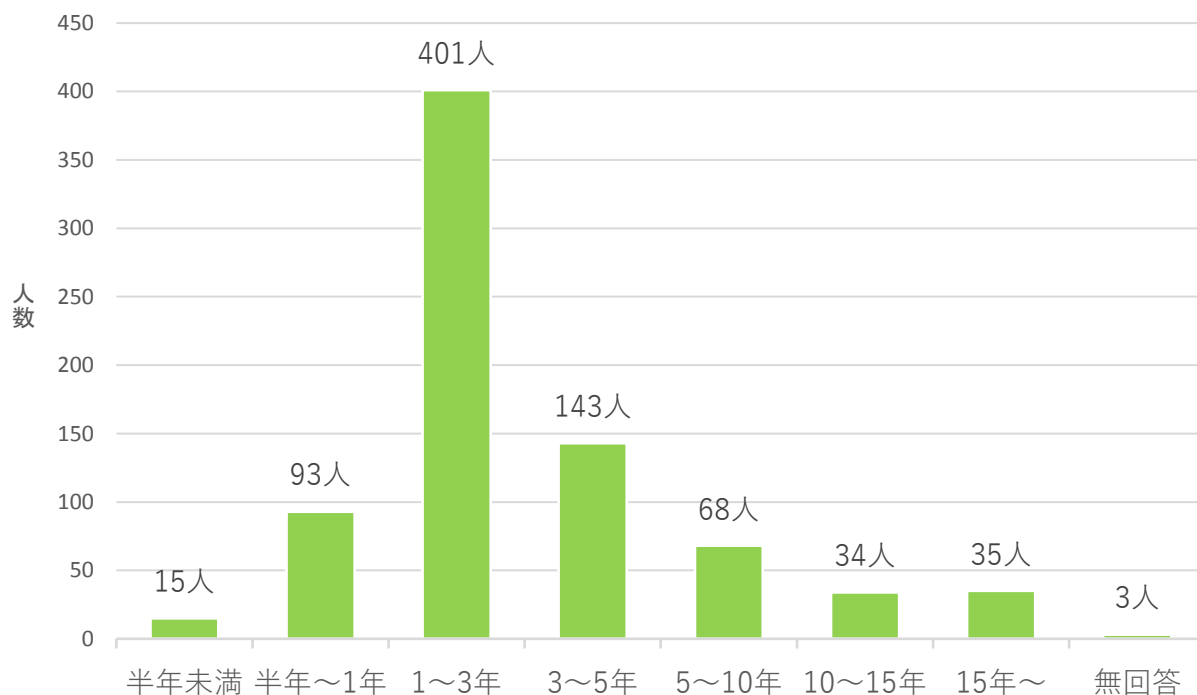
※「その他」はミャンマー、ブラジル、イギリス等26カ国・地域(いずれも10人以下)

問5 あなたの在留資格はどれですか。(n=792)



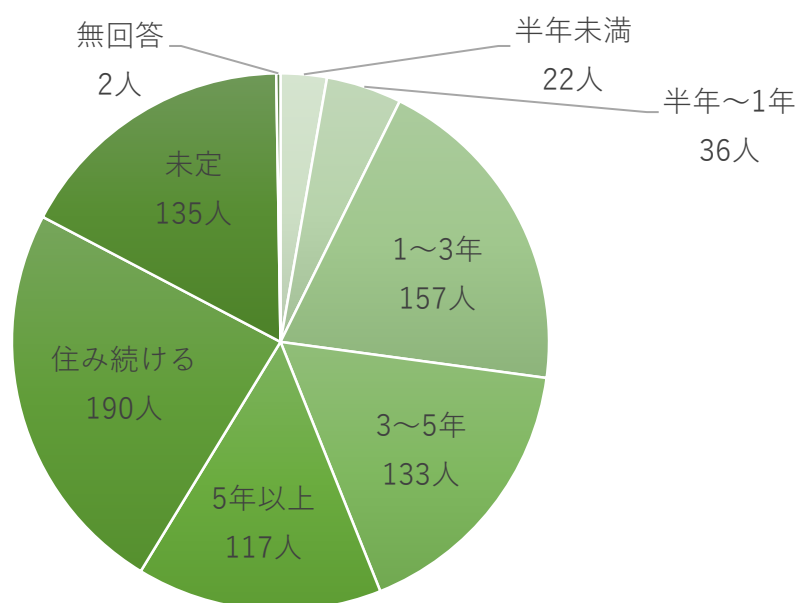
「留学」が331名(41.8%)、「技能実習」が215名(27.1%)となっており、2資格で全体の7割(68.9%)を占めている。

問6 あなたはどのくらい日本で生活していますか。(n=792)



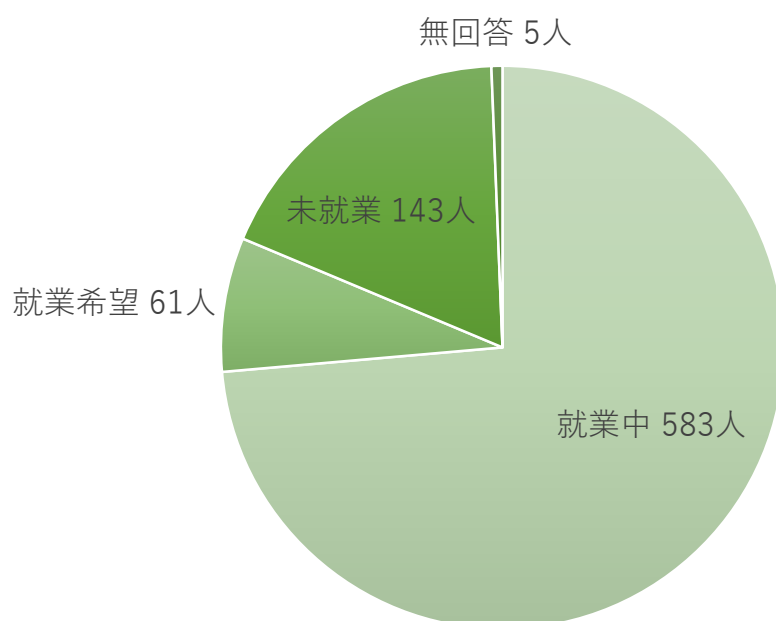
「1年以上～3年未満」が401名(50.6%)と最も多く、5年未満の在住者が全体の8割(82.3%)を占めている。

問7 あなたはこれから、日本でどのくらい生活する予定ですか。(n=792)



「住み続ける」が190名(24.0%)と最も多く、以下、「1年以上～3年未満」が157名(19.8%)、「未定」が135名(17.0%)などとなっている。

問8 仕事をしていますか。(n=792)

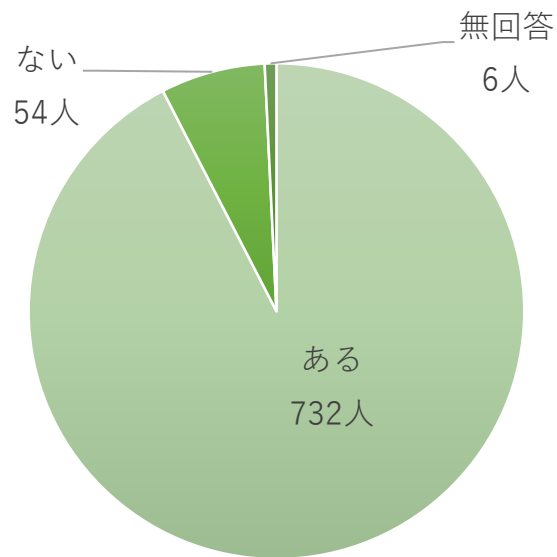


「就業中」が583名(73.6%)と最も多く、以下、「未就業」が143名(18.1%)、「就業希望」が61名(7.7%)となっている。

## [2] 日本語学習に関する項目

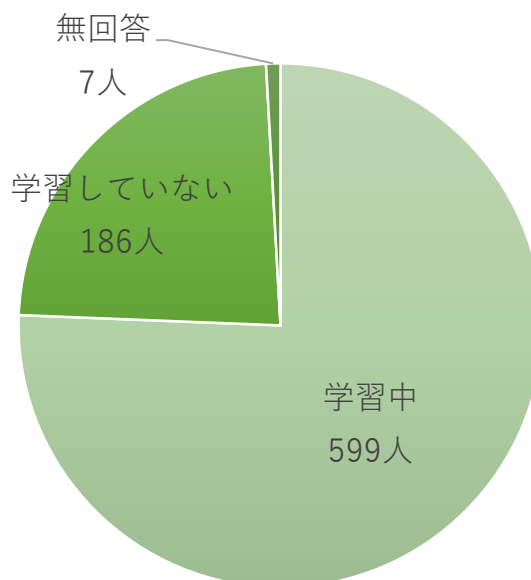
### (1) 日本語の学習経験 ※全員

問9 あなたは日本語を学んだことがありますか。(n=792)



「学習経験者」が732名(92.4%)と、大半を占めている。

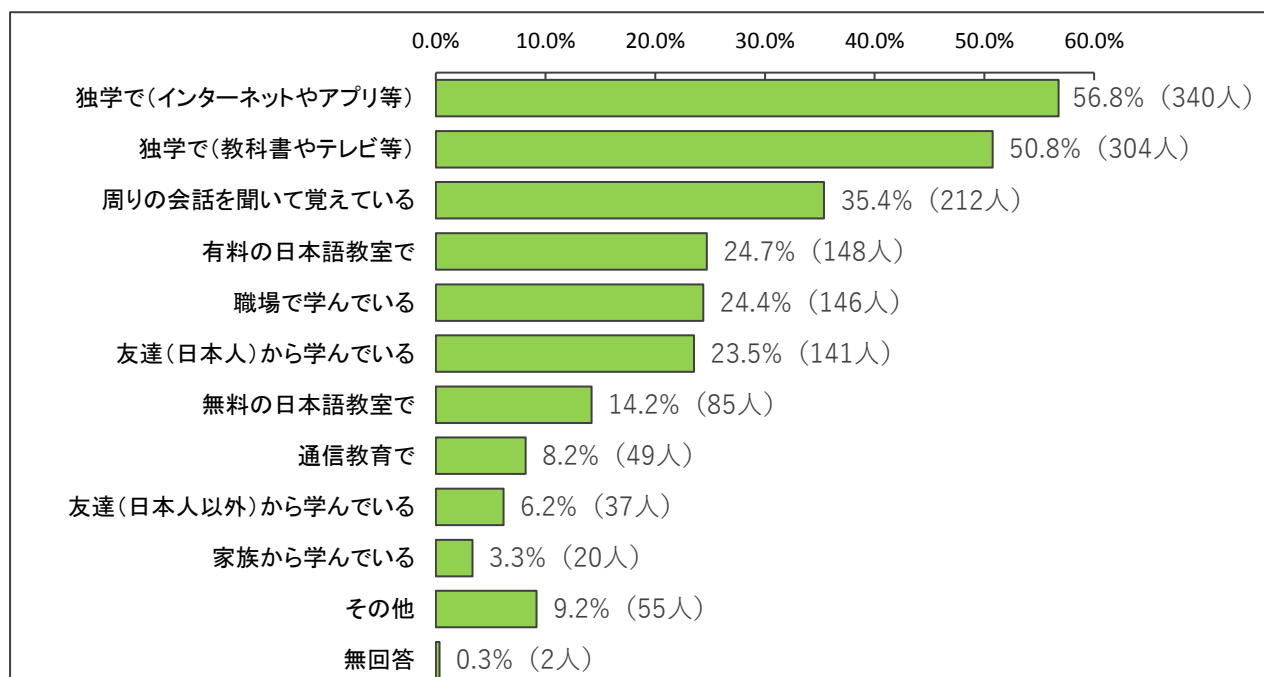
問10 あなたは、今、日本語を学んでいますか。(n=792)



「学習中」が599名(75.6%)、「学習していない」が186名(23.5%)と、4分の3が日本語を学んでいる。

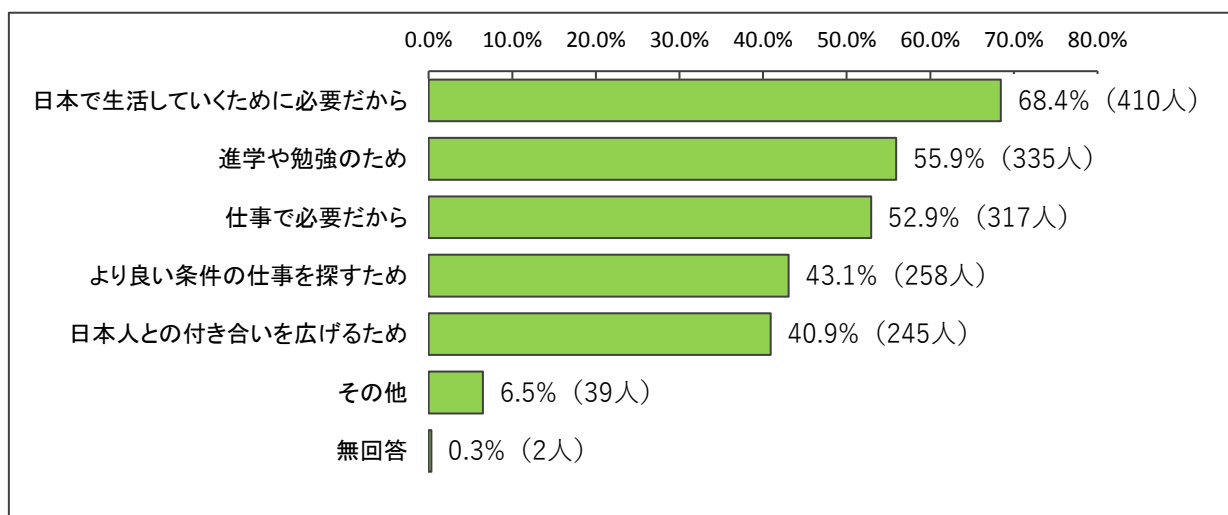
(2) 日本語学習の状況 ※日本語を学んでいる人のみ

問11 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。[複数回答可] (n=599)



「インターネットやアプリで」が340名と最も多く、以下「教科書やテレビで」が304名、「周囲の会話から」が212名などとなっている。

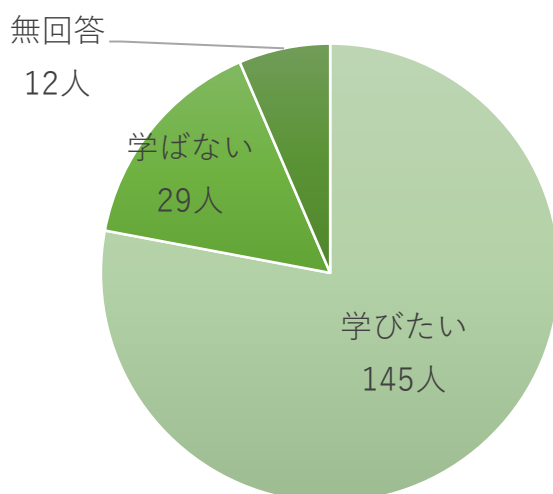
問12 あなたは何のために日本語を学んでいますか。[複数回答可] (n=599)



「生活」が410名と最も多く、以下「進学・学習」が335名、「仕事」が317名などとなっている。

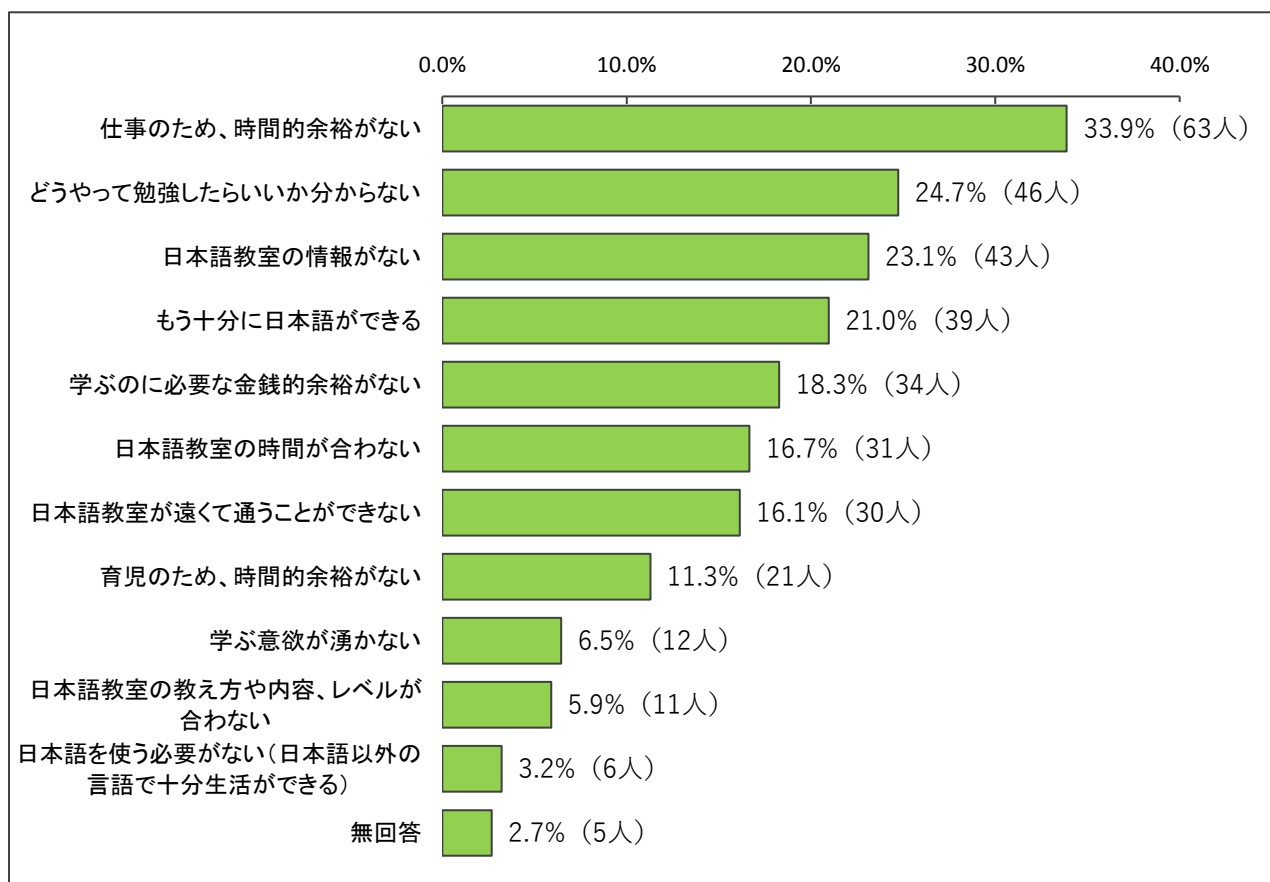


(3) 日本語学習に対するニーズ ※日本語を学んでいない人のみ  
 問13 日本語を学びたいですか。(n=186)



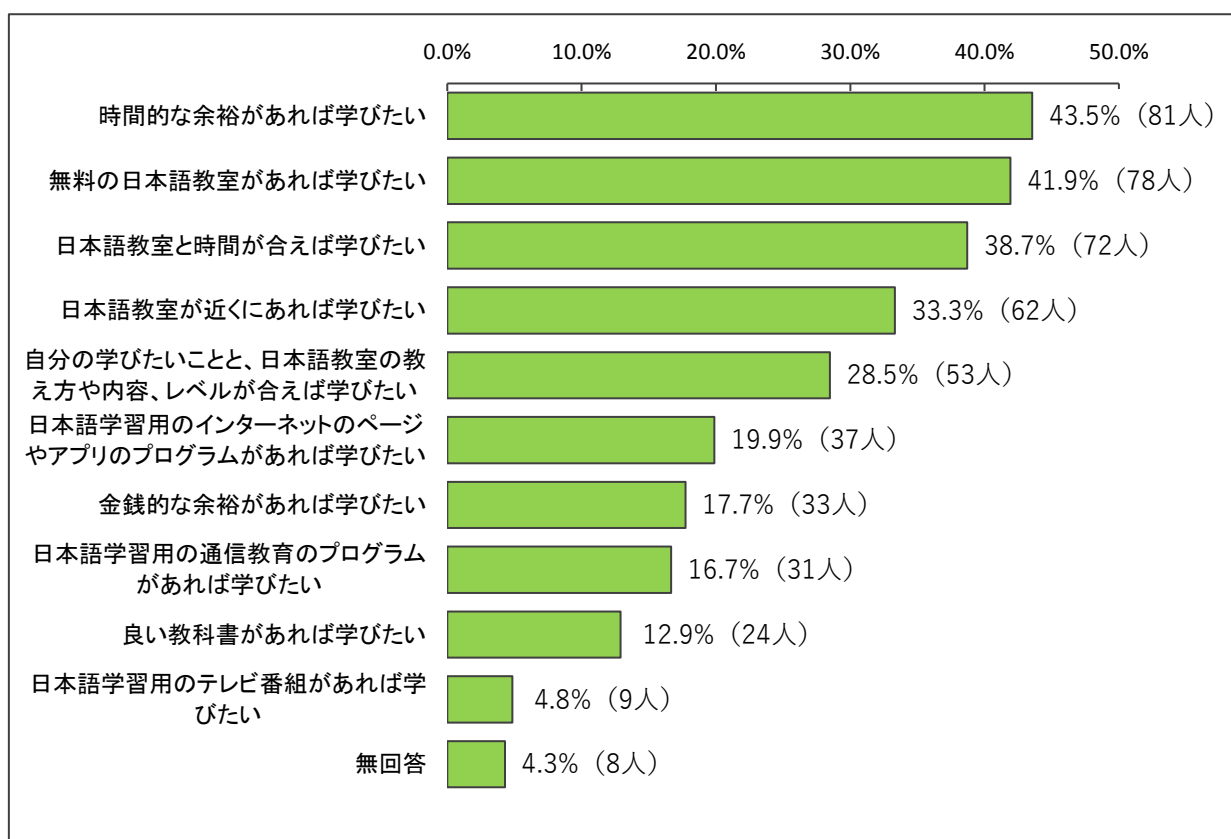
「学びたい」が145名(78.0%)、「学ばない」が29名(15.6%)と、約8割が日本語学習を希望している。

問14 現在学んでいないのはなぜですか。[複数回答可] (n=186)



「仕事が忙しい」が63名と最も多く、以下、「方法がわからない」が46名、「教室の情報がない」が43名などとなっている。

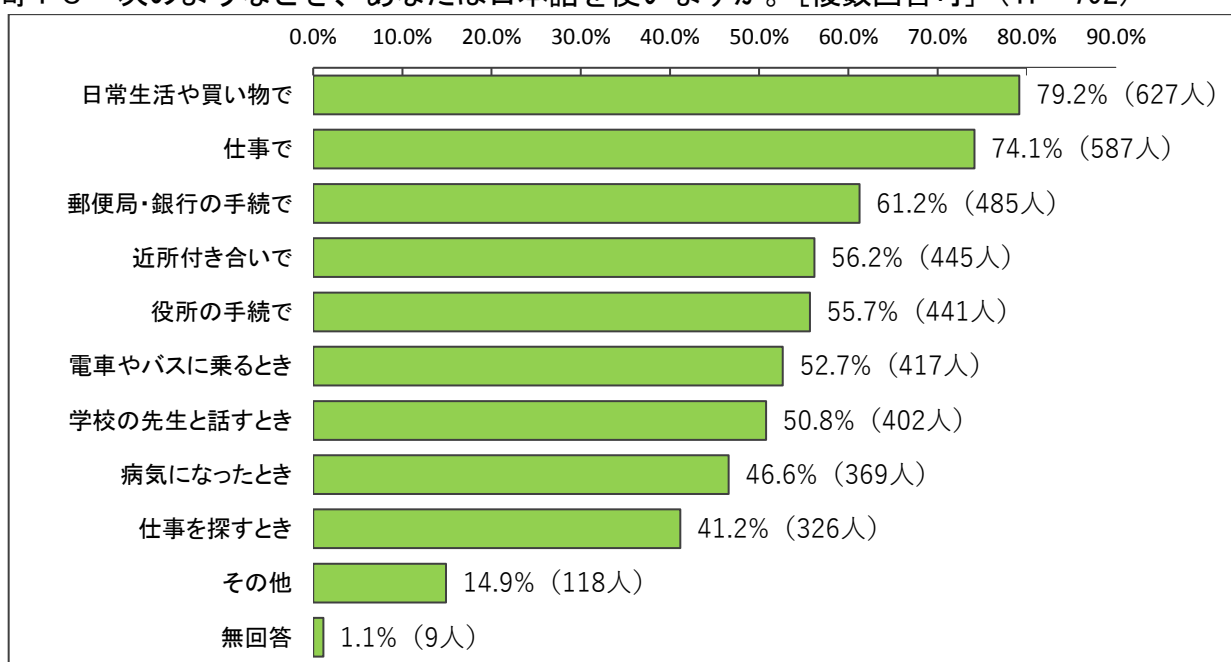
問15 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。[複数回答可] (n=186)



「時間的な余裕」が81名と最も多く、以下、「無料教室」が78名、「時間」が72名などとなっている。

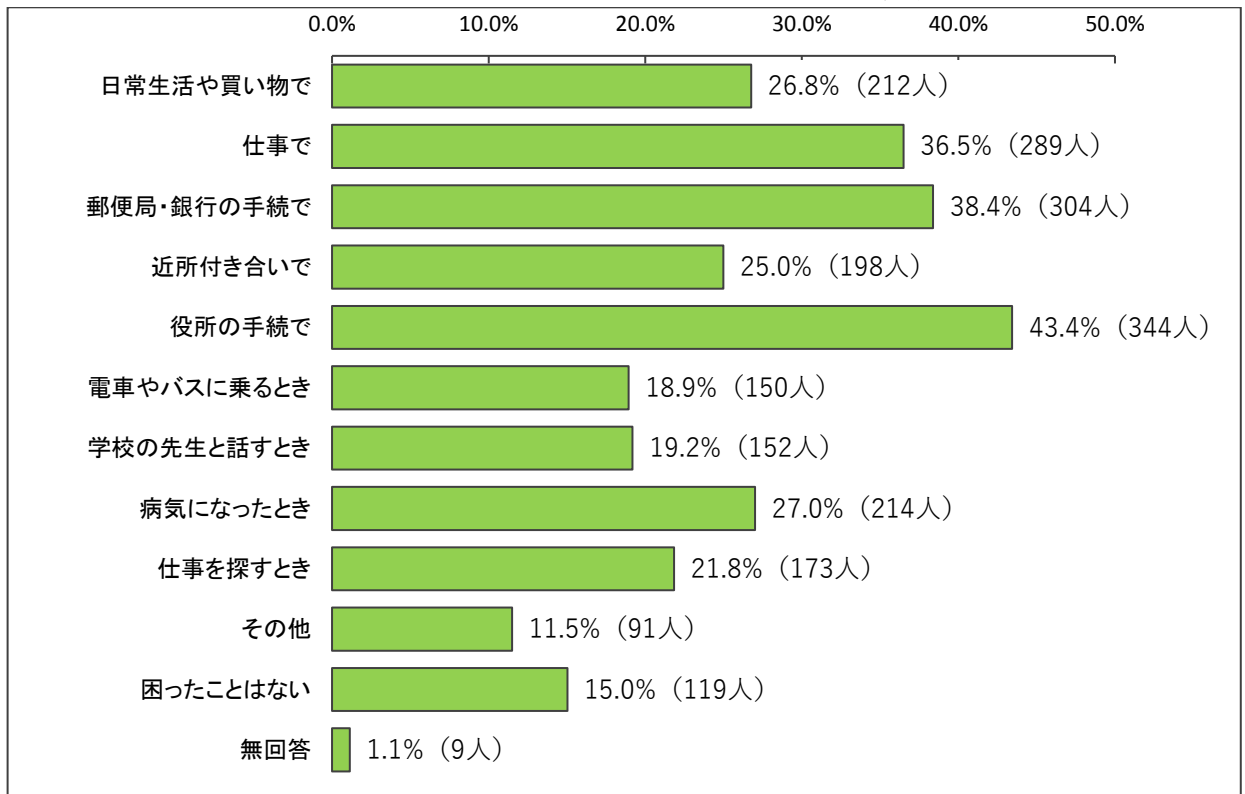
(4) 日本語の使用状況について ※全員

問16 次のようなとき、あなたは日本語を使いますか。[複数回答可] (n=792)



「買い物」が627名と最も多く、以下、「仕事」が587名、「郵便・金融」が485名などとなっている。

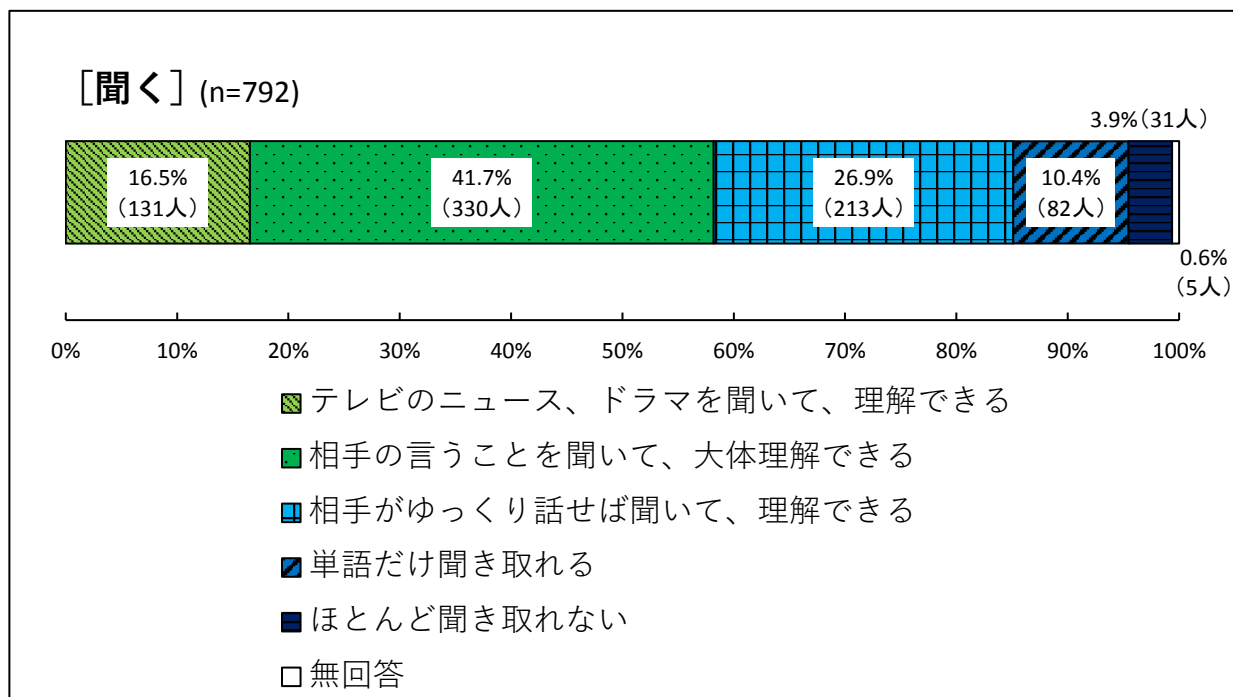
問17 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。最近1年間に困った経験があるものを選んでください。[複数回答可] (n=792)



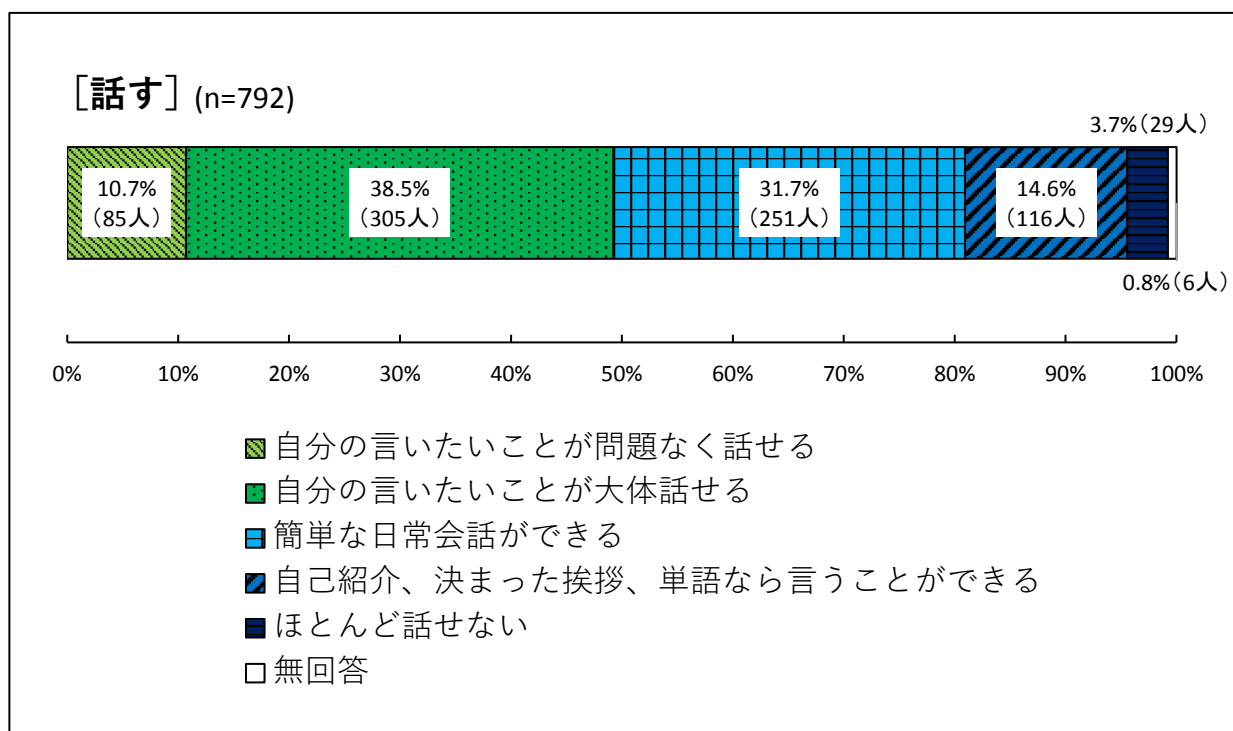
「役所手続き」が344名と最も多く、以下、「郵便・金融」が304名、「仕事」が289名などとなっている。

### [3] 日本語能力に関する項目

問18 あなたは日本語がどのくらいできますか。(n=792)

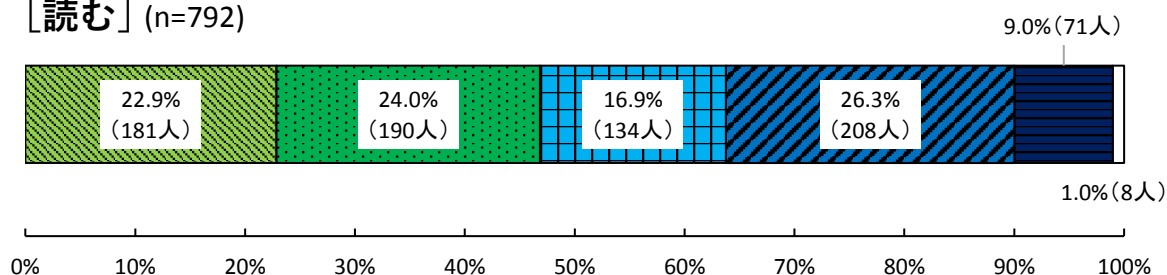


「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」が330人(41.7%)と最も多く、以下、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が131人(16.5%)、「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」が213人(26.9%)などとなっている。



「自分の言いたいことが大体話せる」が305人(38.5%)と最も多く、以下、「簡単な日常会話ができる」が251人(31.7%)、「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」が116人(14.6%)などとなっている。

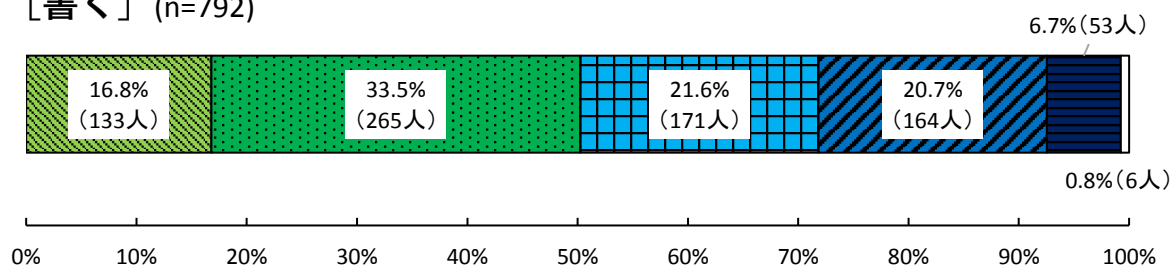
**[読む]** (n=792)



- 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる
- 役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる
- 新聞の雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる
- 絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる
- ほとんど読めない
- 無回答

「絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）がわかる」が208人（26.3%）と最も多く、以下、「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」が190人（24.0%）、同じものを「理解できる」が181人（22.9%）などとなっている。

**[書く]** (n=792)



- 仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる
- 日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる
- 職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる
- 名前や国名、住所などが書ける
- ほとんど書けない

「日常生活や自分のふるさと、経験について紹介する文章を書くことができる」が265人（33.5%）と最も多く、以下、「職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」が171人（21.6%）、「名前や国名、住所などが書ける」が164人（20.7%）などとなっている。



本アンケートの実施・回答にご協力いただき  
ありがとうございました。